

**舞鶴市障害者施策推進協議会  
市民委員を募集**

障害児・者に関する施策の総合的かつ計画的な推進について必要な事項を調査・審議する協議会の市民委員を募集。任期は2年。  
【対象】市内在住の20歳以上で協議会に出席できる人

【募集人数】若干名(作文により選考)

【申し込み方法】住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、フaxes番号、作文①「障害児・者の地域生活を支えるための施策について」②「障害者の就業を促進するための施策について」③「障害の特性に応じたコミュニケーション支援の啓発について」のいずれか一つを選び800字程度を7月22日(祝)までに郵送がファクス、持参で障害福祉・国民年金課 ☎66・1033、FAX 62・7957へ。

**ウズベキスタン柔道代表選手団  
オリンピック事前合宿を実施**

ウズベキスタンのオリンピック柔道代表選手団が新型コロナウイルス感染予防対策を徹底の上、ホストタウンの本市で、文化公園体育館を練習会場として事前合宿を7月12(月)～19(日)に実施します。  
▼詳しくは、スポーツ振興課 ☎66・105(お)へ。

**夏の省エネにご協力を**

冷房などで電気使用量が多くなる夏。エアコンの温度を28度に設定する、複数のエアコン使用を控えるなど、健康や事業活動に無理のない範囲での省エネの取

り組みにご協力を。すだれや緑のカーテンを上手に活用することで室内を涼しくすることもできます。市役所でも9月30日(木)まで「COOL CHOICE」の一環で弱冷房や閉庁時間の空調停止など省エネに取り組みます。

▼詳しくは、生活環境課 ☎66・1064へ。

**聖火リレーの今昔**



5月25日・26日に府立京都スタジアム(亀岡市)で東京五輪の聖火リレーが行われ、舞鶴市のランナーも聖火をつなぎました。1964年に開催された前東京五輪の聖火リレーの写真も掲載しました。見比べてみましょう。



▲1人50mずつ走るランナー(2021年5月25日)  
▶市役所前に集合するランナー(1964年9月27日)



◀聖火皿に点火(左が2021年5月25日、右が1964年9月27日)

**ウズベキスタンで茶を栽培**

**人材育成で技術協力**



▲(左上) 輸送した苗木 (右上) ウズベキスタンの試験栽培地 (左下) 苗木を植えるウズベキスタン人 (右下) 苗木の成長を確認

**◆現地で試験栽培始まる**

市がウズベキスタンの人材育成支援の一環として進める「茶の栽培技術協力」。現地では、茶の試験栽培が始まりました。「茶の栽培技術協力」は、一昨年、ウズベキスタン共和国フェルガナ州リシタン地方政府との間で取り交わした人材育成に関する覚書に基づき実施しています。

今年3月、日本から現地に茶の苗木約

1,000本を輸送し、同4月、現地パートナーのタシケント国立農業大学の協力のもと、フェルガナ州を含む4つの州の試験栽培地に苗木を植え、現在、生育データの収集と日本側の専門家による分析を進めています。

**◆舞鶴市とウズベキスタンの連携**

ウズベキスタンでは、古くから緑茶が飲まれています。旧ソ連時代の計画経済の

中で、綿花の栽培を割り当てられたことから、これまで商業的な茶の栽培は、ほとんど行われていませんでした。国内で消費される茶葉のほとんどを中国などからの輸入に頼っています。

市では、こうしたウズベキスタンの状況を改善し、茶の国内生産に協力することで、新たな産業の創造・育成に貢献します。

**◆本格的な栽培に向け**

事業を進めるにあたり、ウズベキスタンではタシケント国立農業大学を中心に、試験栽培地を選定し、現在、生育データの収集を行っています。また、日本では、現地事情や農業に精通している東京農工大学准教授の川端良子さんや、埼玉真茶業研究所に茶栽培の技術指導をいただいています。

元来、茶は温暖で湿潤な地域での栽培が適していますが、ウズベキスタンは冬場の気温が著しく低いので、試験栽培では、耐寒性に優れた埼玉真ゆかりの品種を採用しています。

今後、試験栽培を続け、苗木の状態を観察するとともに、現地の環境にあった栽培方法を確立し、本格的な栽培に発展させる予定です。

《みなと振興・国際交流課》

**INTERVIEW**



東京農工大学 准教授 (日本ウズベキスタン協会理事長)  
川端 良子さん

ウズベキスタンのアラル海集水域で、環境にやさしい持続可能な農業を行うことで、環境問題を軽減する方法を研究しています。ウズベキスタンにも伝統的な茶の文化があり、世界第14位の茶の消費国です。しかし、近年は100%輸入に頼っています。舞鶴市の取り組みによって、ウズベキスタンに茶

栽培が復活することは、食料安全保障の面からも農家の収入向上の面からも重要だと思います。また、舞鶴市の人材育成支援の取り組みは、ウズベキスタンの人たちが日本で学ぶ機会を得る貴重なシステムです。今後、このシステムが活性化することを願っています。

**【CO-OP共済ニュース】 コープ共済は《たすけあい》ジュニアコースの保障期間を満30歳まで延長(2021年9月から)**

**子どもの保障が 掛金・保障内容はそのまま 満30歳まで続くなんて助かるわ**

掛金・保障内容はそのまま  
1 掛金・保障内容はそのまま  
2 満30歳まで手続き不要  
2021年9月以降に20歳満期を迎える方も適用!  
3 満30歳満期以降も所定のコースに継続可能  
健康状態にかかわらず継続できるコースもあるので安心です。

例えばJ1000円コース(月掛金1,000円)の場合  
1 1日目から 日額6,000円の保障  
2 連続1日目から 日額2,000円の保障

加入できる年齢:0歳~満19歳(発効日時点)  
詳しくは、お電話・2次元コードから資料請求を。 K-77806-2105

〈CO・OP共済に加入するには〉  
出資金をお支払いいただき、お近くの生協の組合員になることが必要です。生活協同組合(生協)は、お店や宅配などでくらしに貢献しています。

京都生協は、京都府全域において、宅配・店舗・コープ共済でお役立ちしています。

京都生活協同組合  
コープ共済センター  
受付時間 9:00~18:00(月~土)

0120-50-9431  
契約引受団体/日本コープ共済生活協同組合連合会

「有料」広告